

日本気象学会 2022 年度秋季大会

会期：2022 年 10 月 24 日（月）～10 月 27 日（木）

会場：北海道大学 学術交流会館（他：同 大学院地球環境科学研究院）<https://www.hokudai.ac.jp/>
 北海道札幌市北区北 8 条西 5 丁目（他：札幌市北区北 10 条西 5 丁目）
 会場には駐車スペースがないため、公共の交通機関でのご来場をお願いします。

開催形式：

対面形式での口頭発表と、オンライン会議システムを用いたライブ形式のポスター発表を行う予定です。また、口頭発表・ポスター発表とも、希望者は大会ウェブサイト上でのオンラインポスター（講演資料など）の掲載も行います。**口頭発表は現地参加でのみ講演及び聴講が可能です。**第 2 日午後の授賞式、受賞記念講演はオンライン中継がなされます。

大会実行委員会担当機関：北海道大学、札幌管区气象台、日本気象協会北海道支社、酪農学園大学

大会委員長：稲津 将（北海道大学）

当日の連絡先：北海道大学学術交流会館 011-706-2141

交通の案内：

JR 札幌駅北口から学術交流会館まで 徒歩約 7 分

地下鉄北 12 条駅（南北線）から学術交流会館まで 徒歩約 8 分

地下鉄さっぽろ駅（南北線、東豊線）から学術交流会館まで 徒歩約 10 分

学術交流会館（A,B,C 会場）と大学院地球環境科学研究院（D 会場）は徒歩約 4 分です。

会場案内図：次ページ参照

■オンラインでの大会の参加にあたって

今大会の口頭発表は対面で実施するため、オンラインによる参加では聴講できません。授賞式・受賞記念講演はオンライン中継を行う予定です。

今大会のポスター発表は、大会期間中の午前中の初めの時間帯にオンライン会議システム（Zoom を予定）を利用して、ライブ形式で行います。聴講者は Google アカウント等の準備なしに参加可能です。口頭発表・ポスター発表とも、発表者は任意で前回大会までと同様に発表資料を大会ウェブサイトに掲載し、質疑等を行うことができます。これを利用するには、発表者・聴講者に関わらず気象学会 Google Workspace（G Suite）アカウント（会員）または Google アカウント（非会員）が必要です。Google Workspace アカウント発行の申請は、会員サイト (<https://www.metsoc.or.jp/membersite>) より可能です。

■オンライン大会ウェブページ（随時更新中）

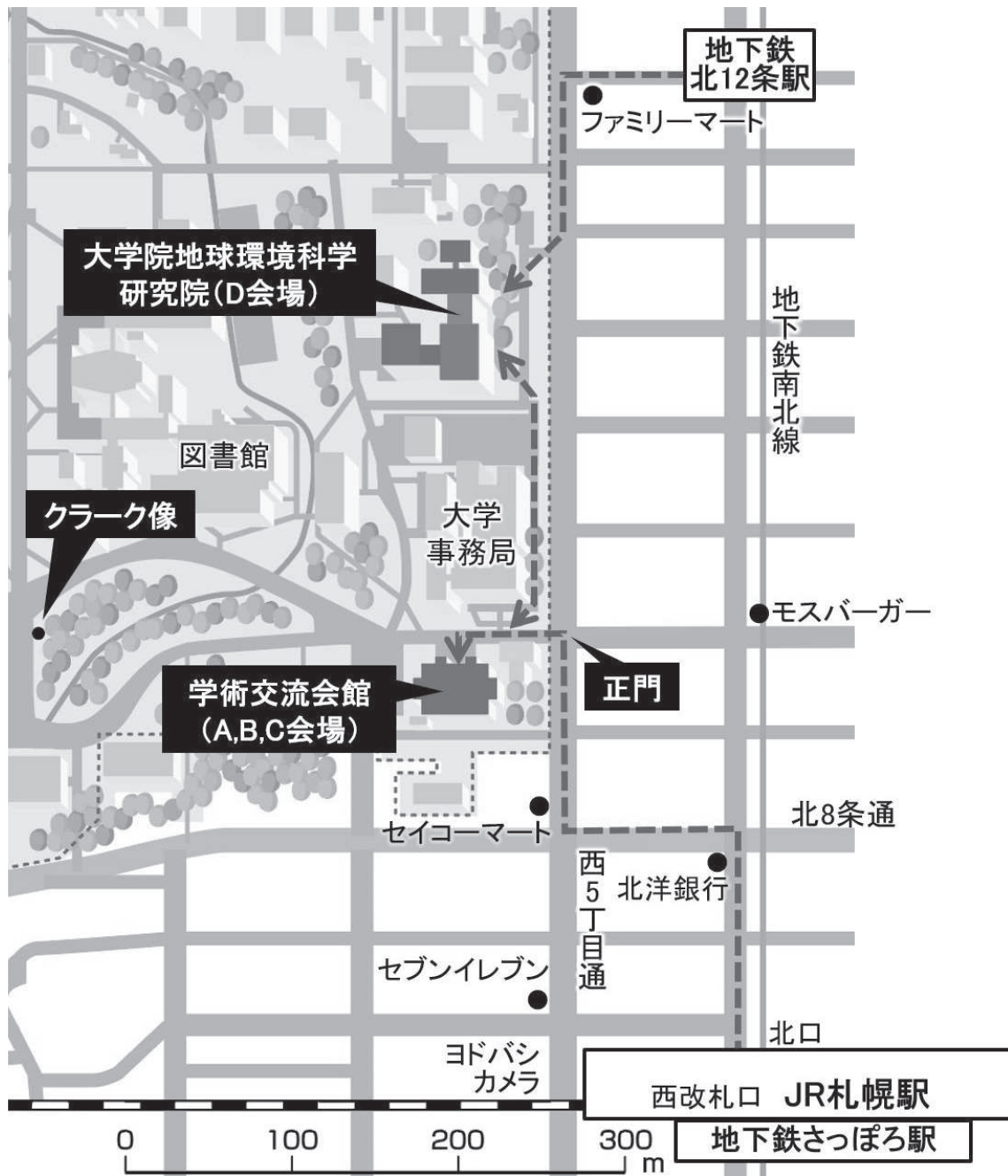
大会プログラムの他、講演形態や講演・聴講方法についての説明をご覧ください。

<https://sites.google.com/metsoc.or.jp/atm2022/home>

■ご質問等おありの方は、下記メールアドレスか、問い合わせフォームよりご連絡ください。

メールアドレス kouenkikaku2022a@googlegroups.com

問い合わせフォーム <https://sites.google.com/metsoc.or.jp/atm2022/contact>



大会行事予定

A会場：講堂（学術交流会館）
 B会場：小講堂（学術交流会館）
 C会場：第一会議室（学術交流会館）
 D会場：講義室 D201（大学院地球環境科学研究院）

授賞式・記念講演：A会場
 リクルートブース・企業展示：ホール（学術交流会館）
 大会事務局：第5会議室（学術交流会館）

() 内は講演数

		A会場	B会場	C会場	D会場	ポスター (zoom)
10月24日 (月)	08:45～ 09:45					ポスター I (51)
	10:30～ 12:30	気候システム I (10)	気象予報 I (10)	専門分科会4(7) くらしと気象 ～持続可能な社会 に向けた技術革 新・地域資源の活 用・防災への取り 組み～	降水システム I (10)	
	13:45～ 17:30	専門分科会2(12) 近年の“集中豪 雪”をもたらす JPCZ：観測と数 値実験及び温暖化 影響	専門分科会6(18) 地球環境変動観測 ミッション (GCOM) の成果 と将来に向けて	環境気候(11) 産業気象(5)	中層大気(7) 大気力学(5) 惑星大気(5)	
10月25日 (火)	09:00～ 12:30	気候システム II (17)	専門分科会1(13) 極端な気象・気候 がもたらす健康リ スク	専門分科会9(10) 日本気象学会にお ける学術出版の未 来 気象教育(4)	降水システム II (17)	
	14:00～ 17:30	授賞式 受賞記念講演				
10月26日 (水)	08:45～ 09:45					ポスター II (51)
	10:30～ 12:30	気候システム III (10)	専門分科会3(9) 温室効果ガス監視 の最新動向	専門分科会7(6) 次世代モデル開発 と気象・気候の本 質理解	降水システム III (10)	
	13:45～ 17:30	熱帯大気(14)	専門分科会3(16) 温室効果ガス監視 の最新動向	中高緯度大気(12) 大気境界層(5)	気象予報 II (15)	
10月27日 (木)	08:45～ 09:45					ポスター III (51)
	10:30～ 12:30	気候システム IV (9)	専門分科会5(9) 2022年1月のトン ガ海底火山噴火に よって発生した大 気波動・物質拡散 と気象津波	観測手法 I (10)	降水システム IV (10)	
	13:45～ 17:20	気候システム V (8) 大気放射(3)	専門分科会8(8) 予測可能性から制 御可能性へ	観測手法 II (13)	物質循環(12)	

発表件数：493件（専門分科会 108，一般発表 385）

当大会予稿集に掲載された著作物については、以下の規程「日本気象学会の刊行物に掲載された著作物の利用について
https://www.metsoc.jp/teikan/MSJ_kitei_copyrightpolicy.pdf」に準じます。

本プログラムの記載内容に関する問い合わせは、〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1 気象研究所内 講演企画委員会
 (E-mail: kouenkikaku2022a@googlegroups.com) まで